



新型コロナ対策 万全の態勢で —PCR 検査センター稼働—

上都賀地区では、新型コロナウイルスのPCR検査を実施する「地域外来・検査センター」を鹿沼・日光両市にそれぞれ1カ所ずつ設置し、本市センターは7月21日から稼働しました。

また、本市では、7月17日に実際の検査を想定した訓練を実施。受付から検体採取までの流れを県や市、医療機関の担当者が繰り返し確認しました。

感染症への備えも忘れずに —避難所運営研修会—

7月14日・22日に加園小学校他で、市職員と女性消防団員を対象とした避難所運営研修会が実施されました。本研修は、災害時の避難所運営の円滑化を図ることを目的としたもので、さまざまな疑似体験を通して、避難所の設立や避難者への対応等について確認しました。

また、段ボールのパーテーション等を用いて行われた感染症対策の実践訓練では、講師の説明に参加者は熱心に耳を傾けました。



自然を感じながら読書はいかが？ —図書館本館へベンチテーブルの寄贈—

6月30日、鹿沼ロータリークラブの設立60周年記念事業として、同クラブから図書館本館にベンチテーブルが寄贈されました。

ベンチテーブルは、図書館本館敷地内の黒川沿いに設置され、清流のせせらぎや小鳥のさえずりを感じながらの読書や勉強に利用できます。ぜひご活用ください。

名産品で地域貢献を

—赤い羽根共同募金寄付金付き商品販売スタート—
(市社会福祉協議会)

7月、(有)豊田木工所が製作する「鹿沼組子」手作りキットが、市内初の「赤い羽根共同募金」の寄付金付き商品として販売されることになりました。この制度は、商品の売り上げの一部が「赤い羽根共同募金」として寄付され、地域の福祉のために還元されるというもの。自社製品が寄付金付き商品として販売されることについて、豊田代表取締役は「鹿沼の名産品をより知ってもらおうとともに、地域貢献につながれば嬉しい」と思いを語ってくれました。

